【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和5年5月9日(2023.5.9)

【国際公開番号】WO2022/059066
【出願番号】特願2022-550069(P2022-550069)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｔ 7/60(2017.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｔ 7/60 ２００Ｃ

【手続補正書】
【提出日】令和5年2月20日(2023.2.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
生体を含む画像を取得する取得手段と、
前記画像から前記生体における略円形の第１部分に対応する特徴図形を検出すると共に、前記生体における前記第１部分周辺の第２部分に対応する特徴点を検出する検出手段と
を備えることを特徴とする検出システム。
【請求項２】
前記第１部分である虹彩及び瞳孔の少なくとも一方に対応する前記特徴図形と、前記第２部分であるまぶたに対応する前記特徴点とに基づいて、前記生体に対する虹彩認証処理を実行する虹彩認証手段を更に備えることを特徴とする請求項１に記載の検出システム。
【請求項３】
前記第１部分である虹彩及び瞳孔の少なくとも一方に対応する前記特徴図形と、前記第２部分であるまぶたに対応する前記特徴点とに基づいて、前記生体の視線を推定する視線推定処理を実行する視線推定手段を更に備えることを特徴とする請求項１又は２に記載の検出システム。
【請求項４】
前記視線推定手段は、前記虹彩及び瞳孔の少なくとも一方に対応する前記特徴図形と、前記まぶたに対応する前記特徴点との相対的な位置関係に基づいて、前記生体の視線を推定することを特徴とする請求項３に記載の検出システム。
【請求項５】
前記第２部分であるまぶたに対応する前記特徴点を用いて、前記画像の回転角を推定する回転角推定手段と、
前記第１部分である虹彩及び瞳孔の少なくとも一方に対応する前記特徴図形の中心を回転軸として、前記画像を前記回転角だけ回転する画像回転手段と
を更に備えることを特徴とする請求項１から４のいずれか一項に記載の検出システム。
【請求項６】
前記特徴点及び前記特徴図形の各々を識別可能な表示態様で表示する表示手段を更に備えることを特徴とする請求項１から５のいずれか一項に記載の検出システム。
【請求項７】
訓練データである前記画像から検出した前記特徴点及び前記特徴図形を用いて、前記検出手段の学習処理を実行する学習手段を更に備えることを特徴とする請求項１から６のいずれか一項に記載の検出システム。

【請求項８】
前記学習手段は、前記特徴図形と前記特徴点との相対的な位置関係に関する情報を用いて、前記学習処理を実行することを特徴とする請求項７に記載の検出システム。
【請求項９】
生体を含む画像を取得し、
前記画像から前記生体における略円形の第１部分に対応する特徴図形を検出すると共に、前記生体における前記第１部分周辺の第２部分に対応する特徴点を検出する
ことを特徴とする検出方法。
【請求項１０】
生体を含む画像を取得し、
前記画像から前記生体における略円形の第１部分に対応する特徴図形を検出すると共に、前記生体における前記第１部分周辺の第２部分に対応する特徴点を検出する
ようにコンピュータを動作させることを特徴とするコンピュータプログラム。